

委員からの質問の回答(質問-25)

4. 2. 6 生態系(河川整備の方針)

引き続きモニタリングを実施

各目的・整備内容の特性に応じた項目・方法・評価法で、引き続きモニタリングを実施します。

河川環境のモニタリング

全国で統一的に行うモニタリングの例

「河川水辺の国勢調査」

- ◆ 河川環境保全のための基礎情報を収集・整理
 - 調査箇所: 全国109の一級水系、110の二級水系、93のダム湖
 - 調査項目: 河川調査(河道の瀬と淵の状況等)
生物調査(魚介類、底生動物、植物、鳥類、両生類、爬虫類、哺乳類、陸上昆虫類等)
河川空間利用実態調査
ダム湖利用実態調査

河川環境のモニタリング

調査頻度：河川調査

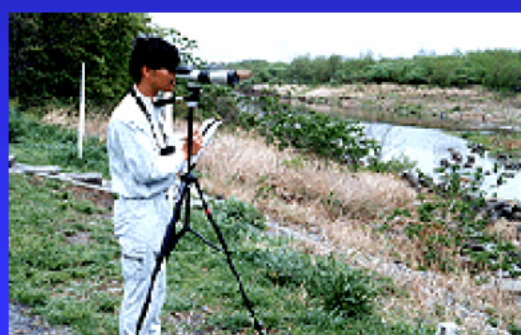
5年に1回

生物調査

5年に1回(ただし、魚介類等の各調査を一斉に同一年にするのではなく、5年間で1巡するよう実施)

利用実態調査

3年に1回



【別添資料.
7】

45

河川環境のモニタリング

箇所毎の特性に合わせて行うモニタリングの例

「ヨシ原(淀川 鶺殿地区)」

調査項目・頻度

◆ 試験施工期間中

・ 切り下げ試験地の植生調査：年2回

◆ 実施後

・ ヨシの高さ・茎径・質に関する

経年変化調査：年2回

・ 植生分布調査：年2回

・ 群落組成調査：年2回

【別添資料.
7】

46

河川環境のモニタリング

「ヨシ原(淀川 鵜殿地区)における植生調査」



【別添資料.
7】

河川環境のモニタリング

箇所毎の特性に合わせて行うモニタリングの例

「ワンド・たまり(淀川)」

淀川に生息する天然記念物であるイタセンパラを保護するための「イタセンパラ保護増殖事業計画」に基づき、イタセンパラを保護・増殖するため、既設ワンド、新設ワンド等のモニタリングを行う。

◆ 調査項目・頻度

- 魚介類調査: 生息種と個体数・年2回
- 水質調査: 表層水、底層水・年2回
- 動物プランクトン調査: 魚類餌量の種類、量
・年2回

【別添資料.
7】

河川環境のモニタリング

「ワンド・たまり(淀川)」における調査」



魚介類調査(二枚貝)

水質・動物プランクトン調査



【別添資料.
7】

委員からの質問の回答(質問-26)

4. 2. 7 景観(河川整備の方針)

ダム貯水池法面の裸地の緑化対策

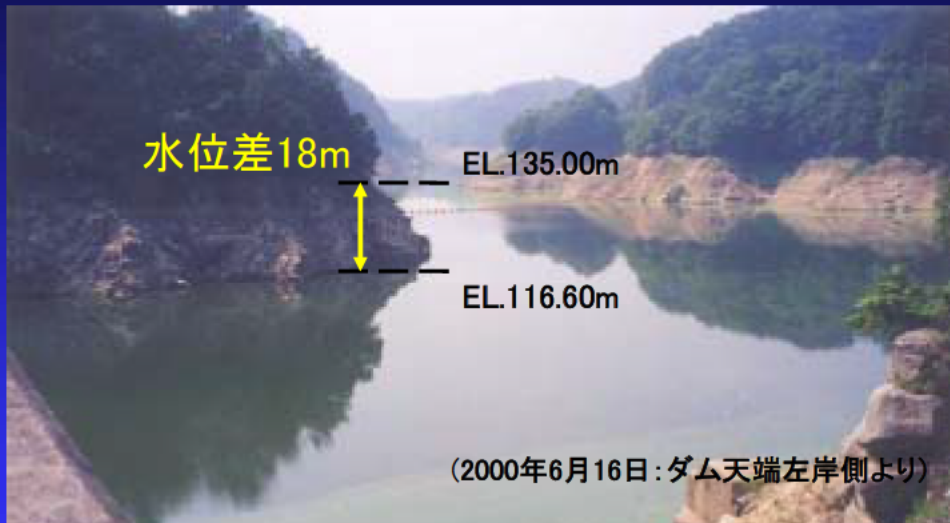
この対策は、洪水期の貯水位が非洪水期よりも低いため、洪水期に湖面周辺の山の斜面で裸地が発生しているダムについて実施します。

試験施工に当たっては、緑化がダム湖の水質に与える影響を調査しながら実施します。

【説明資料】

ダム貯水池法面の裸地の緑化対策

高山ダム湖岸裸地状況



夏期には裸地が出現し、
貯水池周辺の景観を損なっております。

【説明資料】

51

委員からの質問の回答(意見-15)

5. 2. 1 河川形状(具体の整備内容)

浜欠け、ヨシ刈りの問題が欠落

ヨシの生育や浜欠けの問題は認識しております。

琵琶湖の冬期間の水位については、治水、利水の観点のみならず、琵琶湖の環境や生業の観点も含めて適切に運用します。

【説明資料】

52

委員からの質問の回答(意見-15)

5. 2. 1 河川形状(具体の整備内容)

浜欠け、ヨシ刈りの問題が欠落

浜欠けの原因は、波浪による浸食作用、流入河川からの土砂供給量の減少、湖岸の構造物の設置、湖内の人為的な浚渫等が考えられます。

琵琶湖の環境については、このほかに水位の影響を受けている現象がないか、確認するための調査検討が必要です。

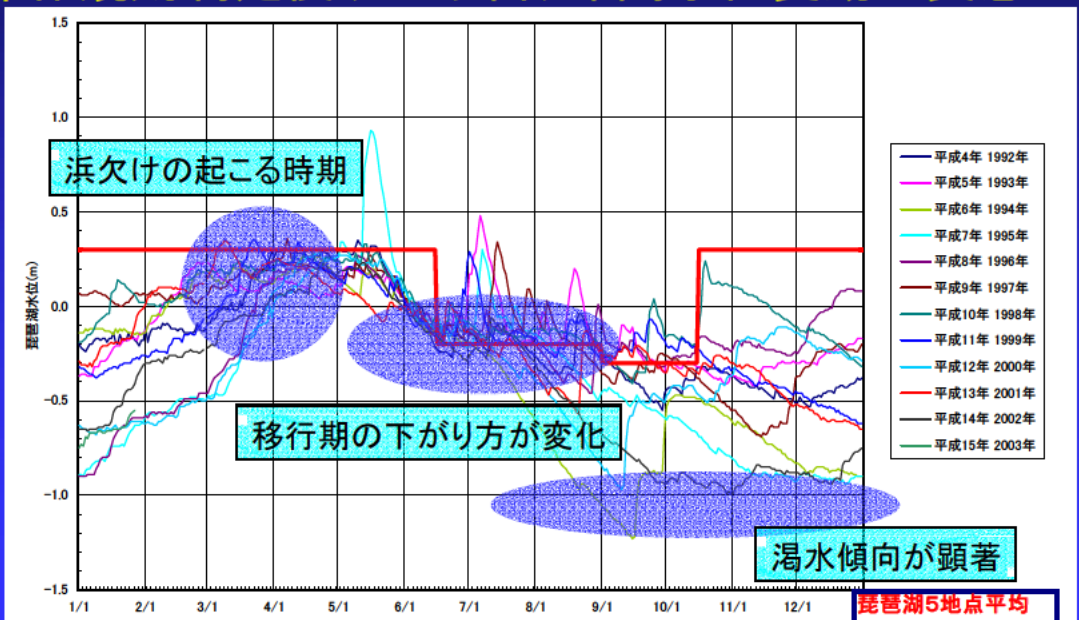
【説明資料】

53

現状の課題(環境面)

琵琶湖水位の変化

操作規則制定後(H4以降)年間水位変動の実態



【説明資料】

54

現状の課題（環境面）

冬場の高水位が一因として浜欠けが発生

新海浜（彦根市）の侵食状況



出典：琵琶湖の原風景を守り育てるために
—白砂青松と緑の湖辺を未来へ—
滋賀県 1999年3月発行パンフレットより

【説明資料】

55

現状の課題（環境面）

冬場の高水位がヨシ刈りに支障

ヨシ刈りへの影響（平成13年3月17日）

【説明資料】

56